

東京都 特定テナント省エネ評価 通知書【2024年度実績版】

● **評価結果**

貴事業所の総合評価は

AA です

達成度 

※ S・AAA :  AA :  A :  B :  C : 

● **事業者概要**

特定テナント等事業者の名称	株式会社●●ホテル		
特定テナント等事業所の名称	●●ホテル本社		指定地球温暖化対策事業所の名称 ■ビル
特定テナント等事業所の業種	宿泊	指定地球温暖化対策事業所の番号	0000

① 総合評価（宿泊版）

①-1 総合評価における点数内訳

総合評価

76 点

=

② 排出実績評価

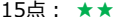
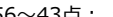
30 点

+

③ 点検表評価

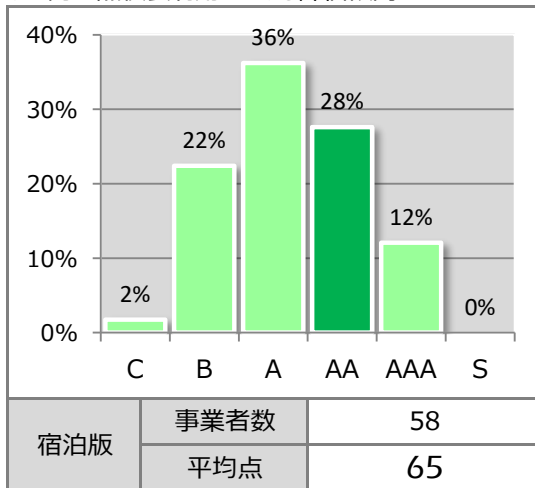
46 点

次の評価区分（AAA）まで
あと **4** 点

※ ②排出実績評価 30点 :  25・20点 :  15点 :  10・5点 :  0点 : 
 ※ ③点検表評価 70～57点 :  56～43点 :  42～29点 :  28～15点 :  14～0点 : 

①-2 総合評価の傾向

ア 同一点検表利用における評価傾向 **【宿泊版】**

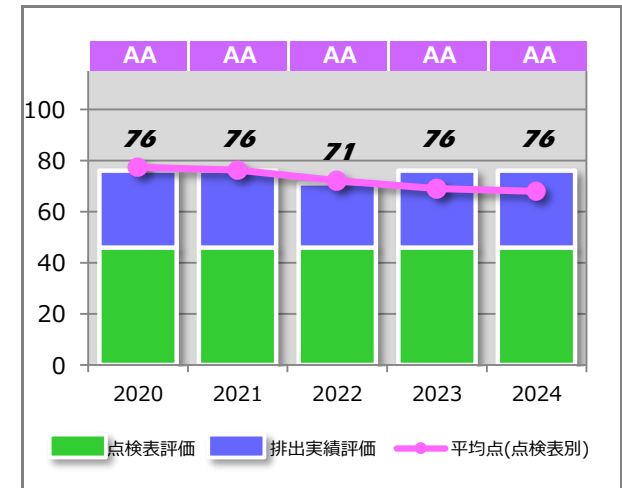


イ 同一業種における評価傾向 **【宿泊】**

ア 同一点検表利用と同内容となります。

①-3 評価点の推移

貴事業所における評価点の推移（直近5か年度） **【宿泊版】**



※評価実績のない年度は、平均点（点検表別）のみが表示されます。

② 排出実績評価

● 排出実績評価 結果

貴事業所の排出実績評価は

30 点

です

達成度



※ 30点：★★★★★ 25・20点：★★★★ 15点：★★★ 10・5点：★★ 0点：★

②-1 温室効果ガス排出実績

貴事業所の基準年度※2： 2010年度

	基準年度※2 2010年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
特定温室効果ガス [t-CO ₂]	4,420	3,450	3,500	3,550	3,530	3,520
原単位※1 [kg/m ² ・年]	157.0	122.8	124.6	126.3	125.6	125.3

※1 原単位：延べ面積当たり特定温室効果ガス年度排出量

※2 基準年度：特定テナント等事業者が、比較対象として設定した年度

②-2 評価の詳細〔対基準年度比の温室効果ガス削減状況〕

■ 特定温室効果ガスの変化

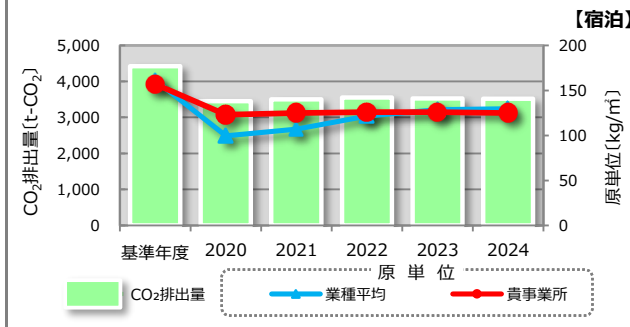
基準年度 2010年度	4,420	t-CO ₂
当該年度 2024年度	3,520	t-CO ₂

■ 原単位の変化

基準年度 2010年度	157.0	kg/m ²
当該年度 2024年度	125.3	kg/m ²

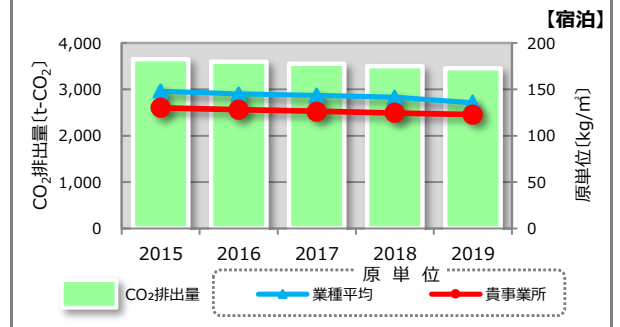
原単位による
評価補正：**20.4% 削減****20.2% 削減****無**

■ 評価基準 30点：削減率20%以上 25点：削減率10%以上～20%未満 20点：削減率10%未満
10点：増加率10%未満 5点：増加率10%以上～20%未満 0点：増加率20%以上

②-3 排出実績の推移（CO₂排出量と原単位）

15点：削減率0%又は原単位補正「有」

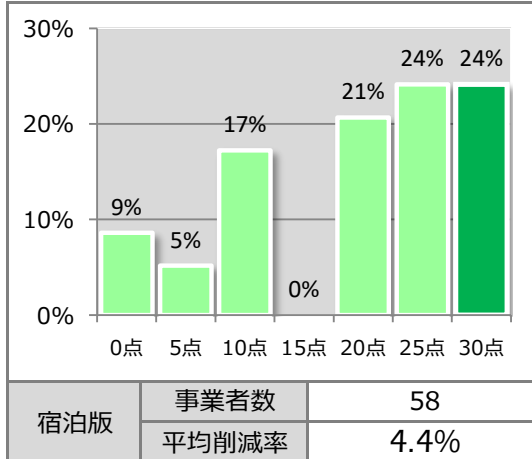
《参考》第2計画期間における排出実績の推移



※ 第2計画期間に排出実績がない場合は、業種平均原単位のみが表示されます。

②-4 排出実績評価の傾向

ア 同一点検表利用における評価傾向 【宿泊版】



イ 同一業種における評価傾向

【宿泊】

《参考》業種平均原単位との比較

〔単位：kg/m²・年〕

業種平均原単位	129.5	→	原単位差	4.2 低い
貴事業所原単位	125.3			

※ 原単位差が低いと、使用床面積の規模に係らず、同一業種の中でも排出量が少ない事業所であることを意味します。

★ 全体傾向及び業種傾向の解説

6割以上の事業所が排出量を削減しており、2割以上の事業所が基準年度比で20%以上の削減を実施しています。

貴事業所は、排出量の削減が来ています。生産数量又は建物床面積その他エネルギーと密接な関係を持つ値の増減を加味し、エネルギー消費原単位についても悪化しないよう努めましょう。

：貴事業所における評価

ア 同一点検表利用と同内容となります。

● 点検表評価 結果

貴事業所の点検表評価は

46 点 です

達成度



※ 70～57点：★★★★★ 56～43点：★★★★ 42～29点：★★★ 28～15点：★★ 14～0点：★

■ レーダーチャートの凡例・項目

《凡例》

《項目》

■ 貴事業所	I. 推進体制の整備	点検表No.01～13
■ 貴事業所(前年度実績)	II. バックヤード・事務室対策	点検表No.14～17
■ 平均	III. 宿泊エリア対策	点検表No.18～21
■ 直近上位平均*	IV. 宿泊エリア共用部対策	点検表No.22～24
	V. 宴会・料飲エリア対策	点検表No.25～30

* 直近上位：貴事業所の直近上位である評価区分の平均を表示
(但し、最上位区分は上位1%の事業所の平均、B・C及び評価対象外の場合はA区分平均を表示)

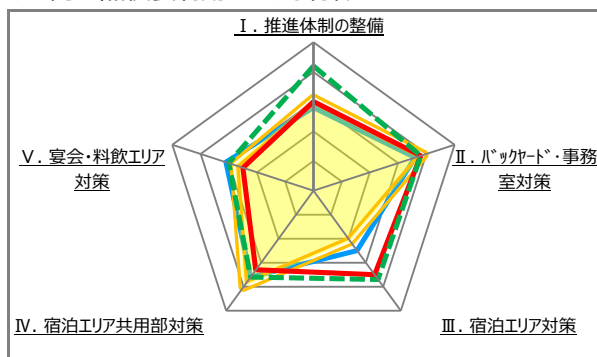
③-1 点検表から見た貴事業所における省エネ対策・体制の特徴

ア 同一点検表利用における特徴

【宿泊版】

イ 同一業種における特徴

【宿泊】



貴事業所は直近上位平均(AAA)と比較して、以下のような特徴が見られます。

- I. 推進体制の整備：改善の余地があります。
- II. バックヤード・事務室対策：平均的です。
- III. 宿泊エリア対策：改善の余地があります。
- IV. 宿泊エリア共用部対策：平均的です。
- V. 宴会・料飲エリア対策：平均的です。

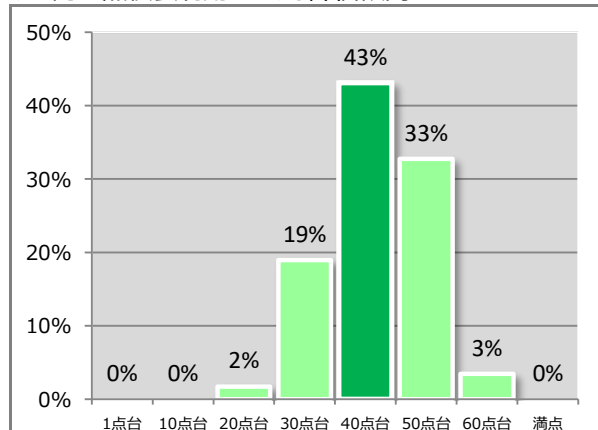
ア 同一点検表利用と同内容となります。

点検表の各項目別の取組状況・傾向は次頁以降を参照ください。

③-2 点検表評価の傾向

ア 同一点検表利用における評価傾向

【宿泊版】



宿泊版	事業者数	58
	平均点	46

イ 同一業種における評価傾向

【宿泊】

ア 同一点検表利用と同内容となります。

★全体傾向及び業種傾向の解説

点検表の得点の平均点は46点であり、7割以上の事業所が40点以上を獲得しています。

貴事業所は、平均的に省エネ対策が進んでいる事業所です。さらに得点を獲得するために、③-1を参考に未実施の対策の実施率をあげていきましょう。

■：貴事業所における評価

■ 推進体制の整備

No.1 組織体制の整備【テナント事業者の推進体制の整備】

自らの事業所内に省エネ対策の推進体制（CO₂削減推進会議）を整備しているか

貴事業所	直近上位	全事業所
1. 整備している	79%	
0. 整備していない	21%	



No.2 組織体制の整備【テナント事業者の推進体制の整備】

役員クラスが推進体制（CO₂削減推進会議）の責任者になっているか

貴事業所	直近上位	全事業所
1. なっている	68%	
0. なっていない	31%	



No.3 組織体制の整備【テナント事業者の推進体制の整備】

自らの事業所内の推進体制（CO₂削減推進会議）をどの程度の頻度で実施しているか

貴事業所	直近上位	全事業所
2. 四半期に1回以上	34%	
1. 年1回以上	43%	
0. 実施無し	22%	



No.4 組織体制の整備【PDCA管理サイクルの実施体制の整備】

PDCA管理サイクル（計画・実施・確認・処置）の実施体制をどの程度整備しているか

貴事業所	直近上位	全事業所
4. 全て整備	17%	
3. 計画・実施・確認のみ	38%	
2. 計画・実施のみ	22%	
1. 計画のみ	12%	
0. 整備していない	10%	



No.5 組織体制の整備【効果検証】

省エネ対策を実施した後、その効果の検証をどの程度実施しているか

貴事業所	直近上位	全事業所
4. 100%	6%	
3. 80%以上～100%未満	45%	
2. 50%以上～80%未満	19%	
1. 50%未満	19%	
0. 実施無し	10%	



* 直近上位欄：貴事業所の直近上位である評価区分(AAA)の最多回答を表示(但し、最上位区分は上位1%、B・C及び評価対象外の場合はA区分を表示)

No.6 オーナー・テナント間の協力【オーナーの協力推進体制への参画】

オーナーが整備する協力推進体制にどの程度の頻度で参画しているか

貴事業所	直近上位	全事業所
3. 毎月実施	22%	
2. 四半期に1回以上	17%	
1. 年1回以上	53%	
0. 参画していない	7%	



No.7 オーナー・テナント間の協力【テナント専有部における協力】

これまで、オーナーとのやり取りの中で、テナント専有部における省エネ対策の提案をした、又は提案を受けたことがあるか

貴事業所	直近上位	全事業所
2. 提案した、又は提案を受け対応している（対応中含む）	72%	
1. 提案した、又は提案を受けたが、実現に至っていない	12%	
0. 双方、提案したことはない	16%	



No.8 オーナー・テナント間の協力【ビル共用部における協力】

これまで、オーナーとのやり取りの中で、ビル共用部における省エネ対策の提案をした、又は提案を受けたことがあるか

貴事業所	直近上位	全事業所
2. 提案した、又は提案を受け対応している（対応中含む）	62%	
1. 提案した、又は提案を受けたが、実現に至っていない	9%	
0. 双方、提案したことはない	29%	



No.9 エネルギー使用量【エネルギー使用量の把握】

オーナーからのエネルギー使用量に関する情報について、どの程度の単位（『範囲』及び『時間』）で受けているか（テナント自身が把握している場合も含む）

貴事業所	直近上位	全事業所
4. 用途(空調・照明・コンセント等)や区画ごとの範囲を、日又は時間単位で把握	18%	
3. 用途や区画ごとの範囲を、月単位で把握	43%	
2. 範囲はなく、総使用量を、日又は時間単位で把握	14%	
1. 範囲はなく、総使用量を、月単位で把握	24%	
0. 受けていない（把握していない）	0%	



No.10 エネルギー使用量【エネルギー使用量の周知】

エネルギー使用量について、どのように社員に周知しているか

貴事業所	直近上位	全事業所
3. グラフ化等、傾向分析が分かるよう加工して、全社員に周知	32%	
2. グラフ化等、傾向分析が分かるよう加工して、一部の社員だけに周知	29%	
1. 加工はしていないが、社員に周知	29%	
0. 周知していない	9%	



■ 推進体制の整備

特定テナント等事業者名：株式会社●●ホテル

No.11 その他【省エネ対策における啓発活動】

照明や空調の運転時間や利用区画の適正化等、建物内の省エネ対策に関する啓発活動を実施しているか

貴事業所	直近上位	全事業所
------	------	------

3. 2に加えて、社内アンケート調査等を行い、実施状況を把握		12%
2. バックヤード・事務室、接客エリアも含め実施		71%
1. バックヤード・事務室又は接客エリアにて実施		16%
0. 実施無し		2%



No.12 その他【店舗との共有】

自社テナント内の店舗(ショップ・レストラン等)と省エネ対策に関する協力を働かしているか

貴事業所	直近上位	全事業所
------	------	------

2. 1に加えて、店舗本社にも働きかけている		15%
1. 現場責任者(店長等)に働きかけている		40%
0. 実施無し又は把握していない		14%
該当無、全て直営店舗		31%



★推進体制の整備の傾向

No.1(省エネ対策推進体制の整備)、No.2(役員クラスの推進体制責任者)、No.7(テナント専有部における協力)、No.8(ビル共用部における協力)について、60%以上の事業所が実施しています。高い評価を獲得している事業所ほど、No.12(テナント内店舗との省エネ協力)の実施率が高い傾向にあります。

No.13 その他【取組の活性化】

省エネ対策に関する各部署の取組が活性化されるような工夫を行っているか

貴事業所	直近上位	全事業所
------	------	------

1. 行っている		56%
0. 行っていない		43%
■ 1を選択したが、具体的内容未記入(配点されません)		



■ バックヤード・事務室対策

No.14 バックヤード・事務室【照度】

主なスペース内において、適正な照度を実現しているか

貴事業所	直近上位	全事業所
------	------	------

1. 500Lx以下		65%
0. 750Lx程度		29%
-1. 1000Lx以上又は把握していない		5%



No.15 バックヤード・事務室【高効率照明器具の導入】

ベース照明について、高効率化しているか

貴事業所	直近上位	全事業所
------	------	------

4. 80%以上でLED化		53%
3. 50%以上～80%未満でLED化		28%
2. 80%以上でHf化		12%
1. 高効率化していないが、オーナーに提案		5%
0. 高効率化していない又は把握していない		2%



★バックヤード・事務室対策の傾向

No.14(適正な照度)、No.17(コンセント機器の省エネ設定)について、60%以上の事業所が実施しています。高い評価を獲得している事業所ほど、No.15(ベース照明の高効率化)の実施率が高い傾向にあります。

No.16 バックヤード・事務室【居室の室内温度の適正化】

主なスペース内において、夏季の「実際の室内温度」を何度に行っているか

貴事業所	直近上位	全事業所
------	------	------

3. 27度(以上含む)		6%
2. 26度		48%
1. 26度未満		45%
0. 把握していない		0%



No.17 バックヤード・事務室【コンセント機器】

パソコンや印刷機器(FAX・コピー機・プリンタ・複合機など)において、省エネモード(スタンバイモードなど)の設定をしているか

貴事業所	直近上位	全事業所
------	------	------

2. 全て設定している		77%
1. 一部設定している		19%
0. 設定していない又は把握していない		3%



■ 宿泊エリア対策

特定テナント等事業者名：株式会社●●ホテル

No.18 客室照明【高効率照明器具の導入】

ベース照明について、高効率化しているか

貴事業所	直近上位	全事業所
4. 80%以上でLED化		60%
3. 50%以上～80%未満でLED化		22%
2. 80%以上でHf化		7%
1. 高効率化していないが、オーナーに提案		10%
0. 高効率化していない又は把握していない		0%



No.19 客室照明【ブラインドの活用】

ブラインド(カーテンも含む)の活用について、次のような省エネ対策を行っているか
[取組例]：清掃時に開けて自然採光利用、不在時の室内温度上昇を抑えるため日射が強いときには閉める、日射熱を得るための意図的な開放等

貴事業所	直近上位	全事業所
2. 2つ以上対策を行っている		79%
1. いずれか1つ対策を行っている		16%
0. 行っていない		5%
該当無、客室に窓がない		0%



No.20 客室照明【その他】

客室入室時に客室キーをカードフォルダに挿入の際、連動して照明が点灯するか

貴事業所	直近上位	全事業所
2. 入口灯など必要最小限の箇所が点灯		31%
1. 2に加え、一部照明設備が点灯		38%
0. ほとんどの照明設備が点灯		5%
該当無、連動していない		26%



No.21 客室照明【その他】

客室不在時に、照明、空調、テレビ、電気ポットなどが連動して電源オフを行っているか

貴事業所	直近上位	全事業所
2. 全て行っている		36%
1. 一部行っている		43%
0. 行っていない		2%
該当無、連動していない		19%



★宿泊エリア対策の傾向

No.18(客室ベース照明の高効率化)、No.19(ブラインド(カーテン)の活用)について、60%以上の事業所が実施しています。高い評価を獲得している事業所ほど、No.21(客室不在時の連動電源OFF)の実施率が高い傾向にあります。

■ 宿泊エリア共用部対策

No.22 宿泊エリア共用部【照明設備の省エネ対策】

共用部(エントランス・ロビー・廊下など)における照明設備について、次のような省エネ対策を行っているか
[取組例]：スポット照明や間接照明の出力調整、LED化、間引き点灯等

貴事業所	直近上位	全事業所
2. 2つ以上対策を行っている		81%
1. いずれか1つ対策を行っている		17%
0. 行っていない		2%



No.23 宿泊エリア共用部【空調温度の適正化】

夏季の「実際の室内温度」を何度にしているか

貴事業所	直近上位	全事業所
3. 27度(以上含む)		8%
2. 26度		21%
1. 26度未満		71%
0. 把握していない		0%



No.24 宿泊エリア共用部【自動販売機】

省エネ自動販売機又は自動販売機の利用時間を反映した運転の停止などスケジュール制御を、自動販売機全台数に対して、どの程度導入しているか

貴事業所	直近上位	全事業所
2. 全台数導入		24%
1. 一部導入		48%
0. 導入していない		9%
該当無、自動販売機を設置していない		19%



★宿泊エリア共用部対策の傾向

No.22(照明設備の省エネ対策)について、80%以上の事業所が実施しています。

■ 宴会・料飲エリア対策

特定テナント等事業者名：株式会社●●ホテル

No.25 宴会・料飲部【高効率照明器具の導入】

ベース照明について、高効率化しているか

貴事業所	直近上位	全事業所
4. 80%以上でLED化		48%
3. 50%以上～80%未満でLED化		16%
2. 80%以上でHf化		7%
1. 高効率化していないが、オーナーに提案		12%
0. 高効率化していない又は把握していない		7%



No.26 宴会・料飲部【高効率照明器具の導入】

スポット照明について、高効率化しているか

貴事業所	直近上位	全事業所
4. 80%以上でLED化		43%
3. 50%以上～80%未満でLED化		22%
2. 80%以上でHf化		3%
1. 高効率化していないが、オーナーに提案		14%
0. 高効率化していない又は把握していない		7%



No.27 宴会・料飲部【室内温度の適正化】

主な居室において、夏季の「実際の室内温度」を何度にしているか

貴事業所	直近上位	全事業所
3. 27度（以上含む）		5%
2. 26度		16%
1. 26度未満		69%
0. 把握していない		0%



★宴会・料飲エリア対策の傾向

No.25(ベース照明の高効率化)、No.26(スポット照明の高効率化)、No.27(夏季室内温度の適正化) について、一部導入を含めると80%以上の事業所が実施しています。No.28(省エネ型冷蔵冷凍庫の導入) について、一部導入を含めると60%以上の事業所が実施しています。高い評価を獲得している事業所ほど、No.30(高効率給湯設備の導入) の実施率が高い傾向にあります。

No.28 宴会・料飲部【冷凍・冷蔵設備】

省エネ型の業務用冷蔵冷凍庫を導入しているか

[例] インバータ方式

貴事業所	直近上位	全事業所
2. 概ね全て採用している		41%
1. 一部採用している		34%
0. 採用していない又は把握していない		10%
該当無、オーナー資産又は該当設備無し		14%



No.29 宴会・料飲部【厨房機器】

高効率厨房換気システムを導入しているか

[例] 置換換気方式、給排気形フード

貴事業所	直近上位	全事業所
2. 概ね全て採用している		24%
1. 一部採用している		19%
0. 採用していない又は把握していない		19%
該当無、オーナー資産又は該当設備無し		38%



No.30 宴会・料飲部【給湯設備】

高効率給湯設備を導入しているか

[例] 高効率給湯ヒートポンプユニット、自然冷媒ヒートポンプ給湯器(111等)、潜熱回収給湯器(11ジョーズ等)

貴事業所	直近上位	全事業所
1. 導入している		15%
0. 導入していない		24%
該当無、オーナー資産又は該当設備無し		60%

